

リステンシール B ・ EB

施工要領書

日本リステン株式会社

〒509-5103 岐阜県土岐市泉東窯町 4 丁目 65 番地

TEL(0572)53-4123

FAX(0572)53-4125

目 次

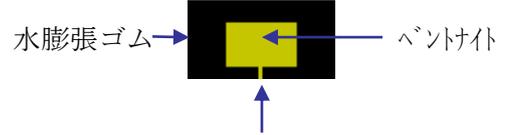
1.	リステンシール B・EB について	1
2.	止水板の形状・用途	1
3.	副資材、使用量	2
4.	施工道具	2
5.	施工方法	3

1. リステンシール B・EB について

リステンシール B・EB（以下 リステンシール B）は被圧水に強い水膨張ゴムと、細かい空隙を充填するベントナイトを組み合わせた複合構造止水板です。

また、リステンシール B は止水性の良さに加え、後付施工のため施工が簡易で、高い止水効果と施工性を併せ持っています。そのような性能を評価され、さまざまな構造物において使用していただいています。

2. 止水板の形状・用途

商品名	形状・寸法(mm)	用途
リステンシール B	 下面に切れ目があります	一般コンクリート打継部 止水板
リステンシール EB	H10×W20×L5,000	電解質水溶液を含むコン クリート打継部止水板

3. 副資材、使用量(目安)

- ・コンクリート釘(L25mm)
- ・リステンボンド US-3000(330ml)
- ・リステンシール D-51(320ml)
- ・ボンド C-41(1 kg)

副資材 取り付け工法	コンクリート釘 (L25 mm以上)	接着剤
水平部 クギ打ち施工	3 本/m	・リステンボンド US-3000 50m/本 (下地状態により)
水平部 ボンド施工	1 本/m	・リステンボンド US-3000 5~10m/本 (下地状態により)
垂直部	4 本/m	平滑下地 ・ボンド C-41 50m/缶
		ラス下地 ・リステンシール D-51 3m/本 (下地状態により)

4. 施工道具



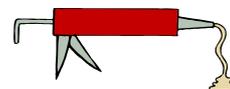
- ・ハサミ又はカッターナイフ



- ・ハケ
- ・清掃道具



- ・ハンマー



- ・コーキングガン

5. 施工方法

1) 水平打継部 釘施工 (図 1-1)

- ①コンクリート面のごみ、砂、レイタンス等を取り除く。
- ②ハンマーで釘を打ち、リステンシール B(切れ目下向き)を固定する。(釘のピッチは約 50cm 内外)
- ③角部はゴムを 90 度にカットして折り曲げ、または大きな円弧で取り付ける。
- ④ジョイント部は 100mm 以上並列密着させる。
- ⑤空隙部にはリステンボンド US-3000 を充填。

2) 水平打継部 ボンド施工 (図 1-2)

- ①コンクリート面のごみ、砂、レイタンス等を取り除く。
- ②下地面にリステンボンド US-3000 を幅 10mm 程度で施工面全体に塗布する。(凹凸形状により量を調節)
- ③リステンシール B(切れ目下向き)をハンマー等で圧着。端末や浮きはコンクリート釘止め。
- ④角部はゴムを 90 度にカットして折り曲げ、または大きな円弧で取り付ける。
- ⑤ジョイント部は 100mm 以上並列密着させる。
- ⑥空隙部にはリステンボンド US-3000 を充填。

3) 垂直打継部 (図 2)

- ①コンクリート面のごみ、砂、レイタンス等を取り除く。
- ②平滑下地にはボンド C-41、ラス下地にはリステンシール D-51 を幅 10mm 程度で施工面全体に塗布する。
- ③ハンマーで釘を打ち、リステンシール B(切れ目コンクリート向き)を固定する。(釘のピッチは約 30cm 内外)
- ④入隅部、空隙部はリステンシール D-51 を充填する。
- ⑤ジョイント部は 100mm 以上並列密着させる。もしくは、ドン付けしてボンドを十分塗りつける。

図 1-1
水平部 釘施工

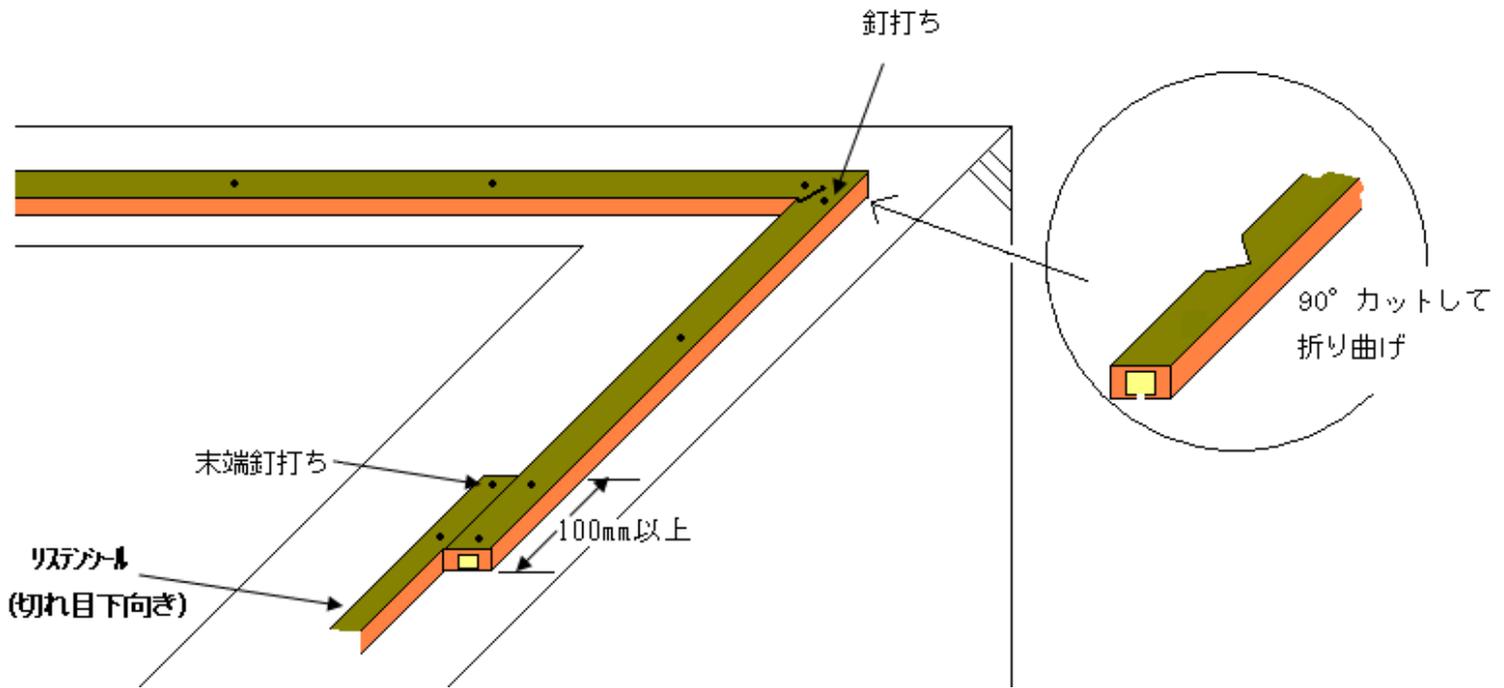


図 1-2
水平部 ボンド施工

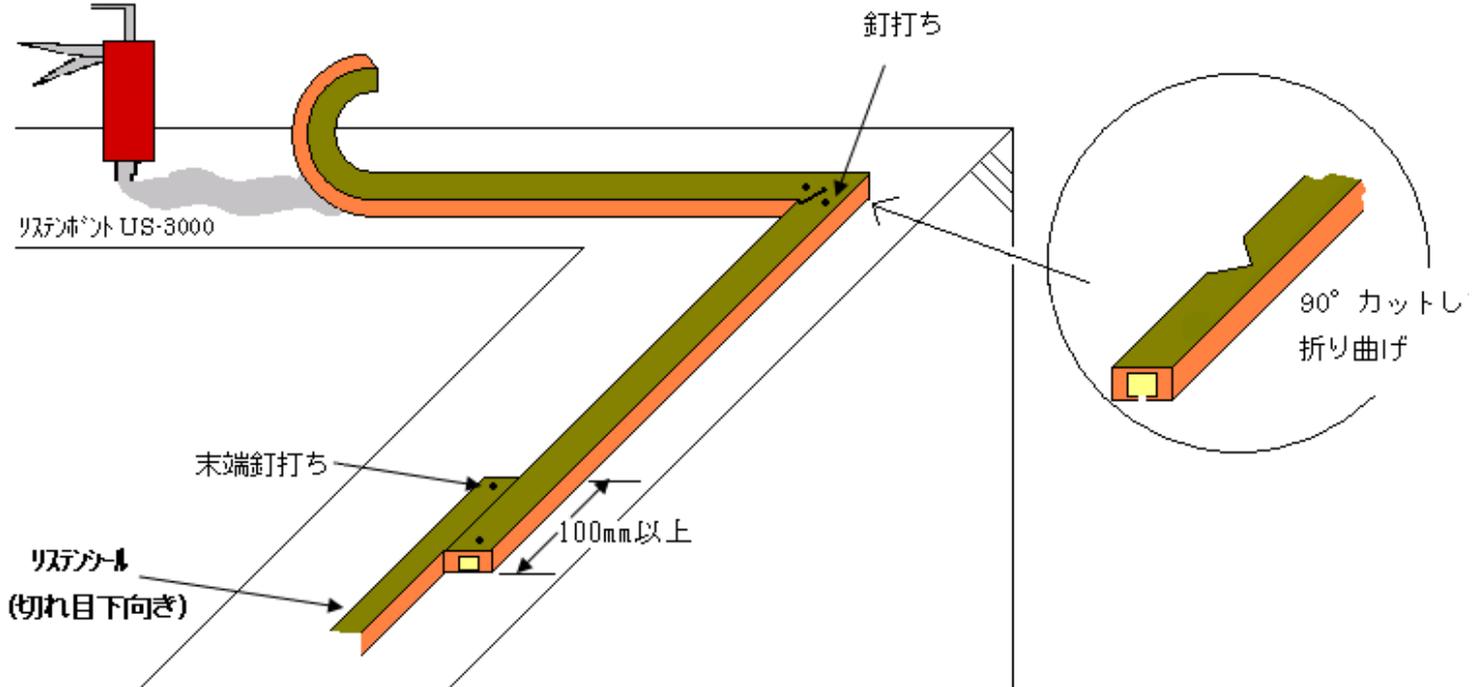


図 2
垂直部

